

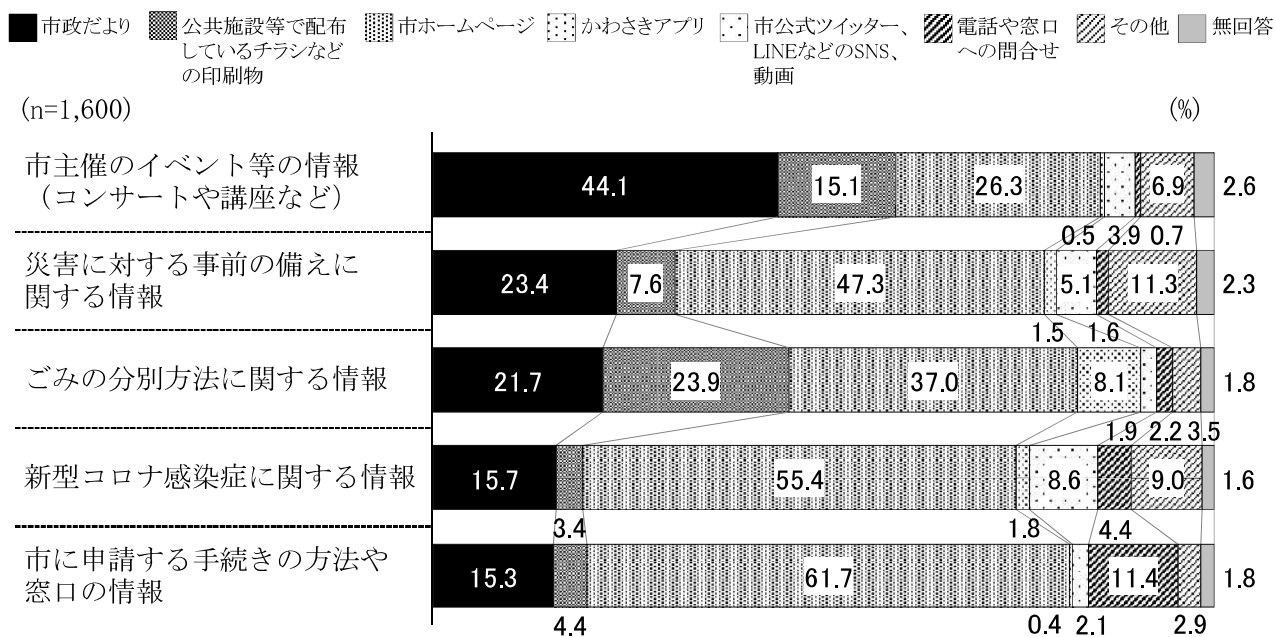
2.6 川崎市の広報（市政だより）について

(1) 川崎市の情報の入手方法

問 19. 川崎市の情報を得たいときに、どのような方法で入手していますか（または、入手しようと思いませんか）。それぞれの項目ごとに、最もあてはまる媒体を1つずつ選んでください。

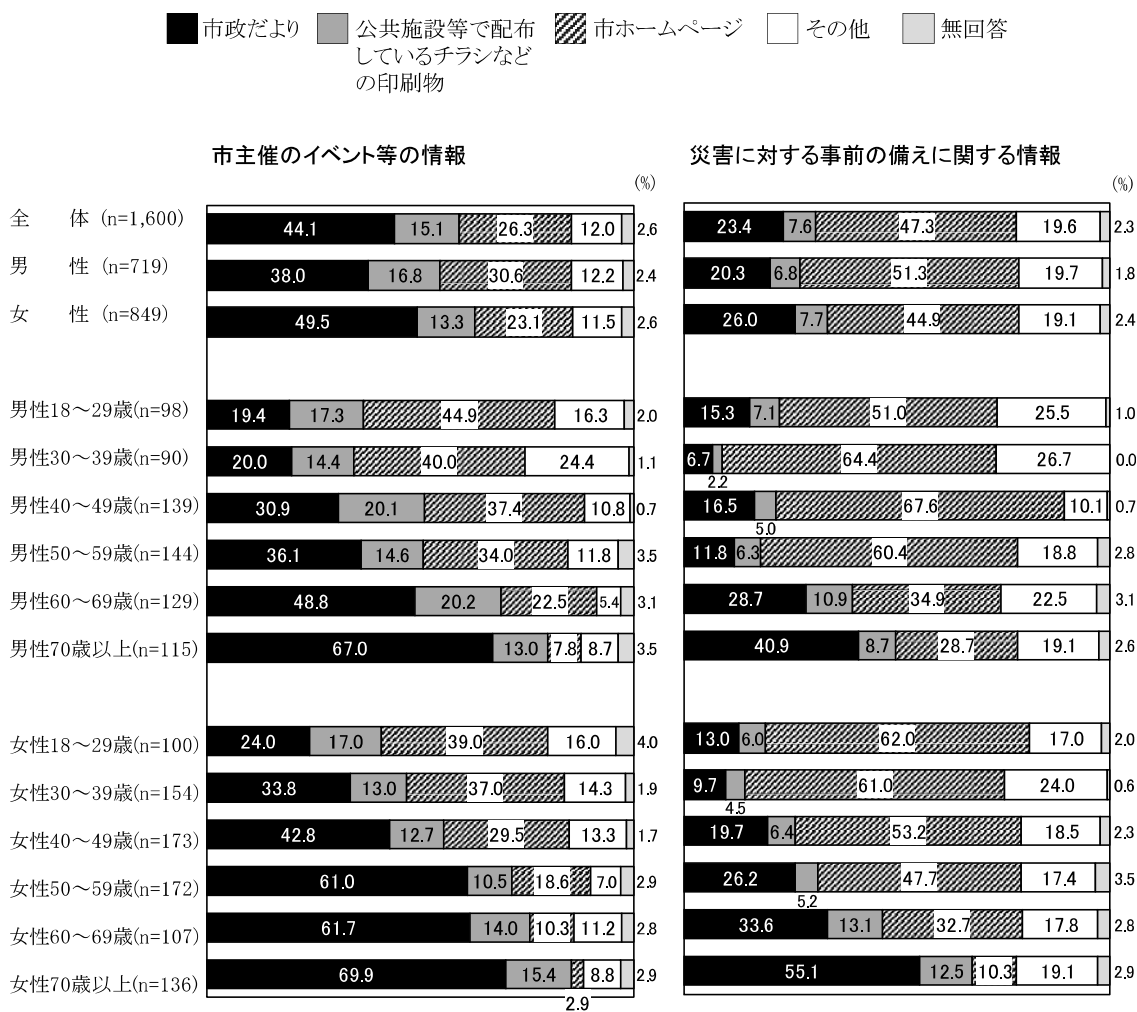
「市主催のイベント等の情報（コンサートや講座など）」は「市政だより」から入手している人が44.1%と最も多いが、その他の項目では「市ホームページ」から入手している人の方が多かった。また、「ごみの分別方法に関する情報」は「公共施設等で配布しているチラシなどの印刷物」が23.9%と他の項目と比較して多く、「新型コロナウイルスに関する情報」と「市に申請する手続きの方法や窓口の情報」では、「市ホームページ」が5割を上回った。

【図表 146】川崎市の情報の入手方法



性／年齢別に見ると、全ての項目において、情報を「市政だより」から入手している人は概ね年齢が高くなるほど多く、男女ともにいずれの情報カテゴリーにおいても70歳以上は3割以上が「市政だより」から情報を得ている。また、「新型コロナ感染症に関する情報」と「市に申請する手続きの方法や窓口の情報」については、男女ともに50歳代以下で「市ホームページ」が5割を上回った。

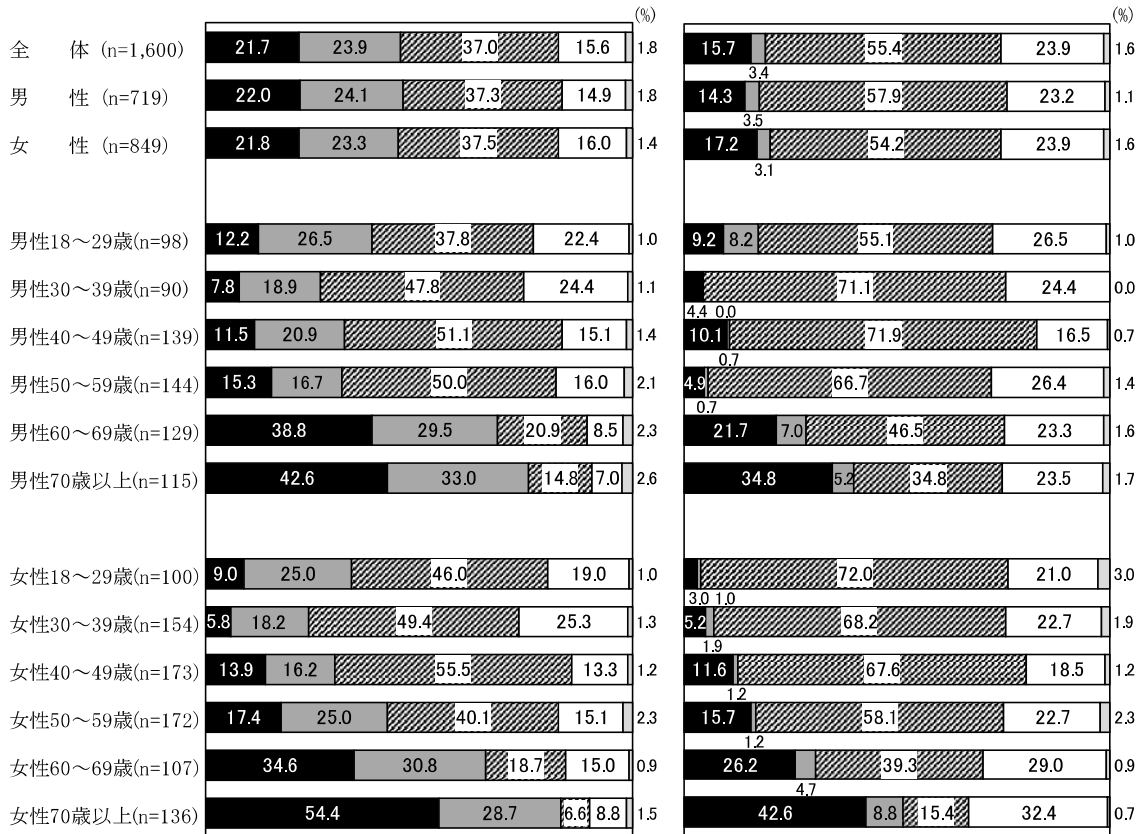
【図表 147】川崎市の情報の入手方法（性／年齢別）



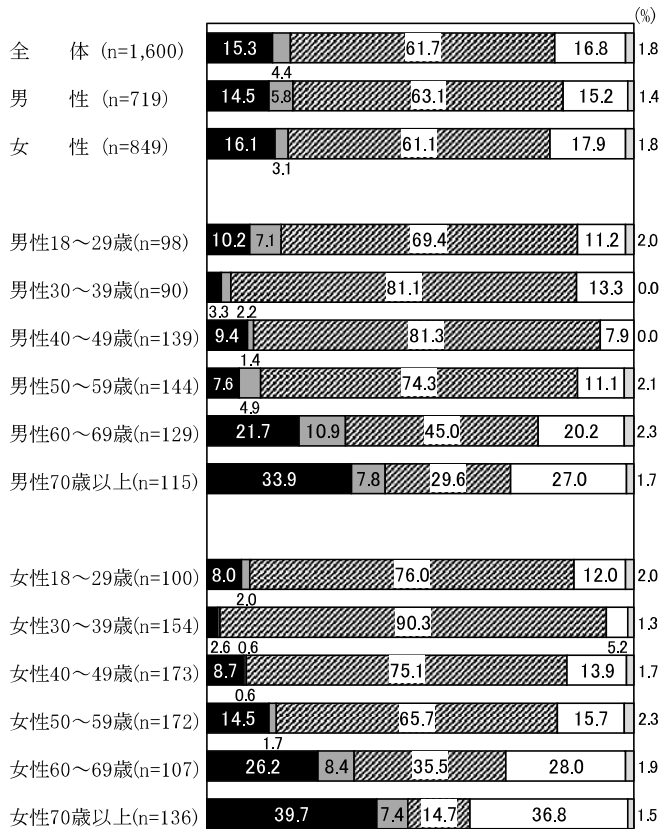
市政だより
 公共施設等で配布しているチラシなどの印刷物
 市ホームページ
 その他
 無回答

ごみの分別方法に関する情報

新型コロナウイルス感染症に関する情報



市に申請する手続きの方法や窓口の情報

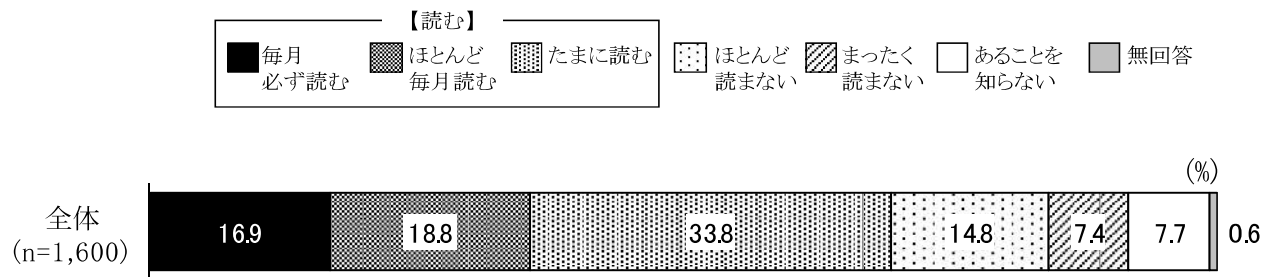


(2) 市政だよりの閲読状況

問 20. 市政だよりについて、うかがいます。あなたは毎月発行している市政だよりをどれくらいの頻度で読んでいますか。

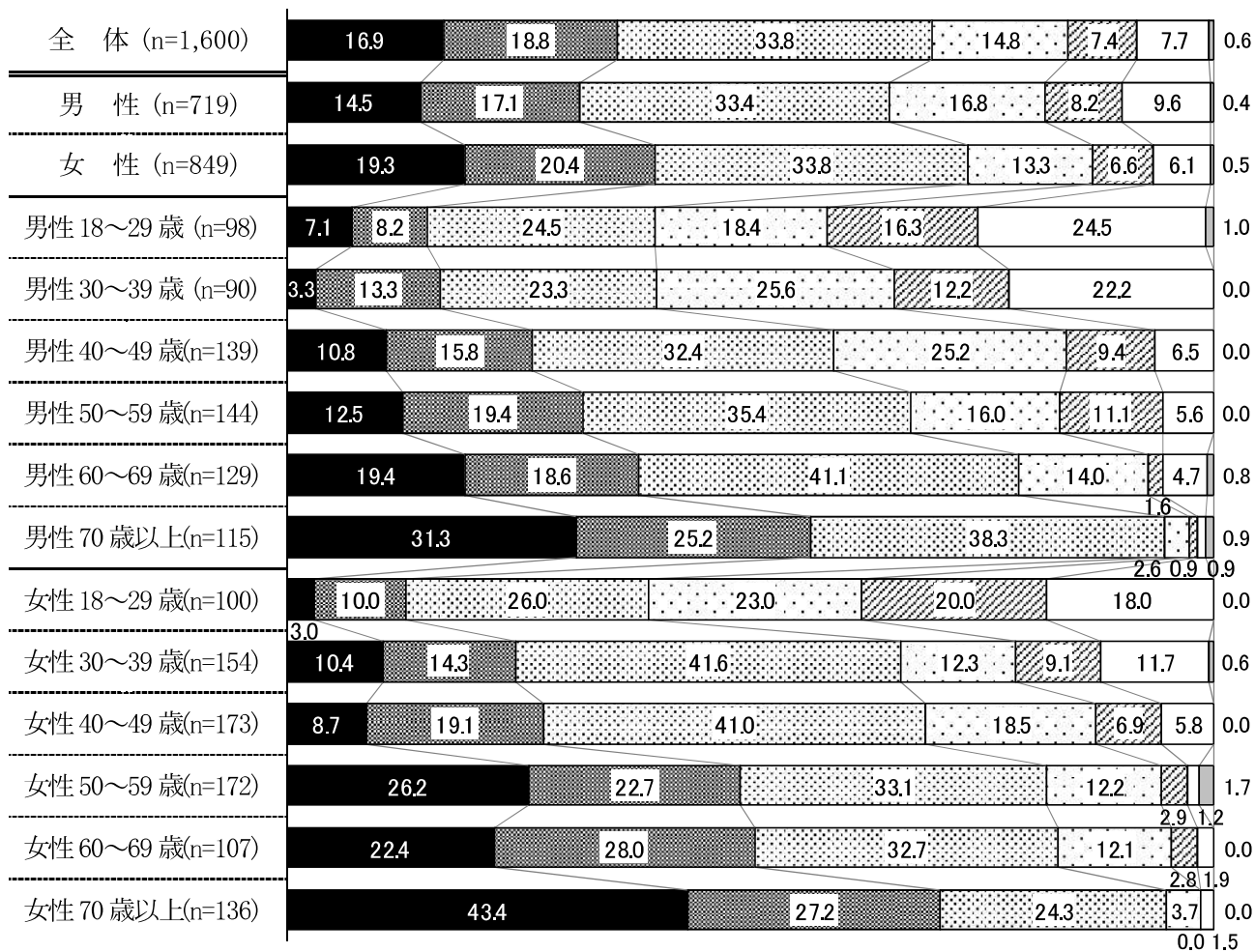
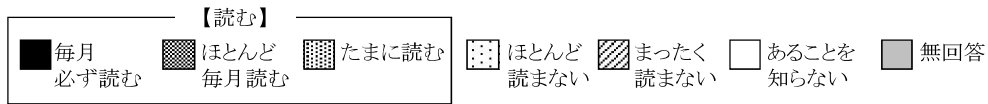
「たまに読む」(33.8%) が最も多く、「毎月必ず読む」(16.9%)、「ほとんど毎月読む」(18.8%) と合計した【読む】は69.5%であった。

【図表 148】 市政だよりの閲読状況



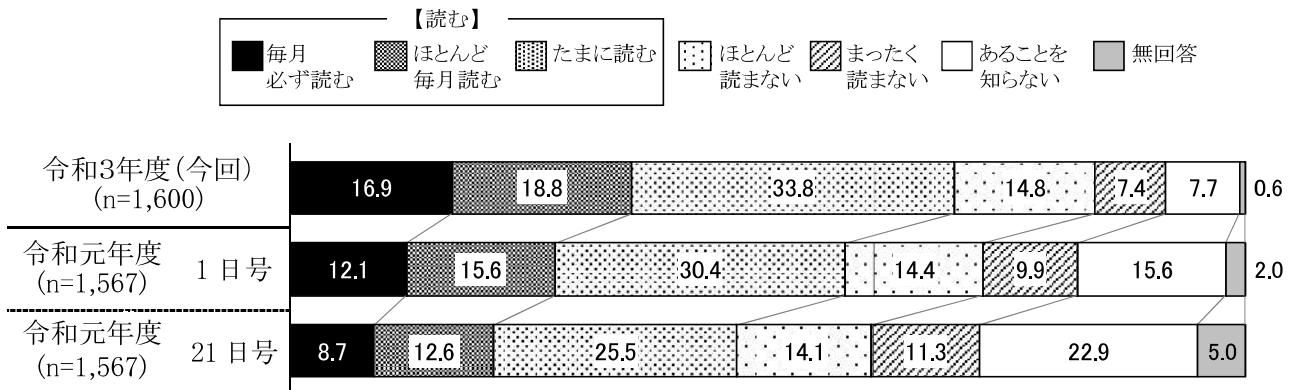
性／年齢別に見ると、【読む】（「毎月必ず読む」、「ほとんど毎月読む」、「たまに読む」の合計）は女性の方が男性よりも多く、男女ともに概ね年齢が高くなるほど多くなっている。一方で、「あることを知らない」は概ね年齢が低くなるほど多い。

【図表 149】 市政だよりの閲読状況（性／年齢別）



「市政だより」を月2回発行していた令和元年度の調査結果と比較すると、「ほとんど読まない」や「まったく読まない」では大きな差が見られないが、【読む】は令和元年度の「1日号」で58.1%、「21日号」で46.7%であったところ、今回は69.5%と増加しており、「あることを知らない」は平成元年度の「1日号」で15.6%、「21日号」で22.9%であったところ、今回は7.7%と減少した。

【図表 150】 市政だよりの閲読状況（過去調査との比較）

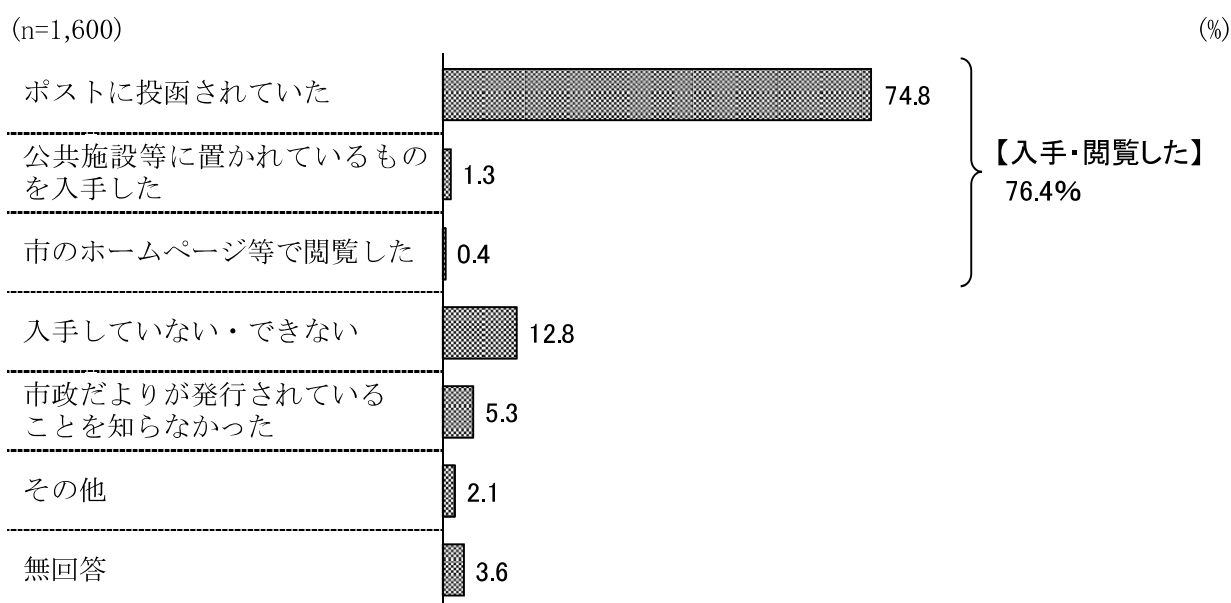


(3) 「市政だより 11月号」の入手状況

問 21-1. あなたは「市政だより 11月号」をどのように入手しましたか。

「ポストに投函されていた」(74.8%)が最も多く、「公共施設等に置かれているものを入手した」(1.3%)、「市のホームページ等で閲覧した」(0.4%)と合計した【入手・閲覧した】は76.4%であった。

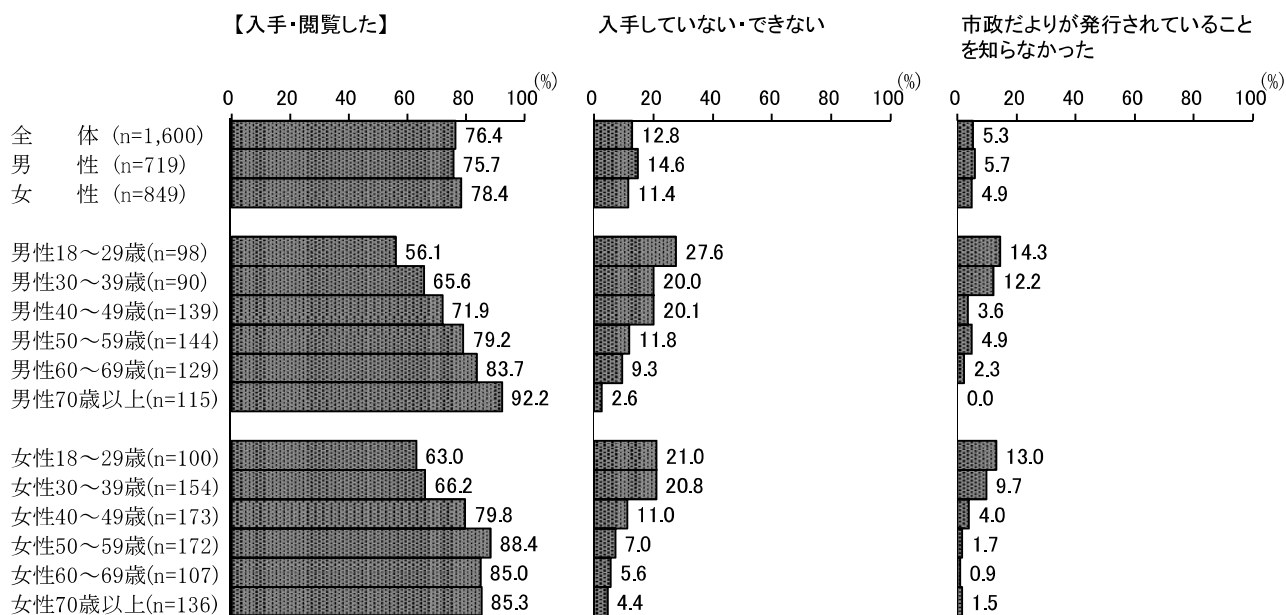
【図表 151】「市政だより 11月号」の入手状況



性／年齢別に見ると、【入手・閲覧した】は男性は年齢が高くなるほど多く、女性も18～29歳が最も少ないが、50歳代以上は8割を超えて多くなっている。

「入手していない・できない」と「市政だよりが発行されていることを知らなかった」は、男女ともに概ね年齢が低くなるほど多くなっている。

【図表 152】「市政だより11月号」の入手状況（性／年齢別）

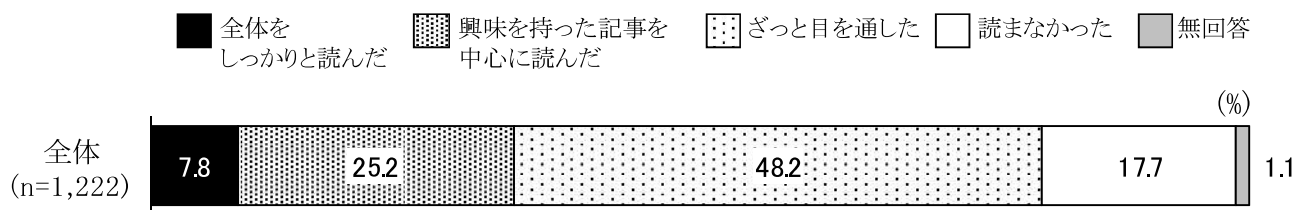


(4)「市政だより 11月号」の閲読状況

問 21-2. 「市政だより 11月号」を入手した方にうかがいます。どのように読みましたか。

「市政だより 11月号」を【入手・閲読した】(「ポストに投函されていた」、「公共施設等に置かれているものを入手した」、「市のホームページ等で閲読した」) 人に閲読状況についてたずねたところ、「ざっと目を通した」(48.2%)が最も多く、次いで「興味を持った記事を中心に読んだ」(25.2%)、「読まなかった」(17.7%)と続き、「全体をしっかりと読んだ」(7.8%)は1割を下回っている。

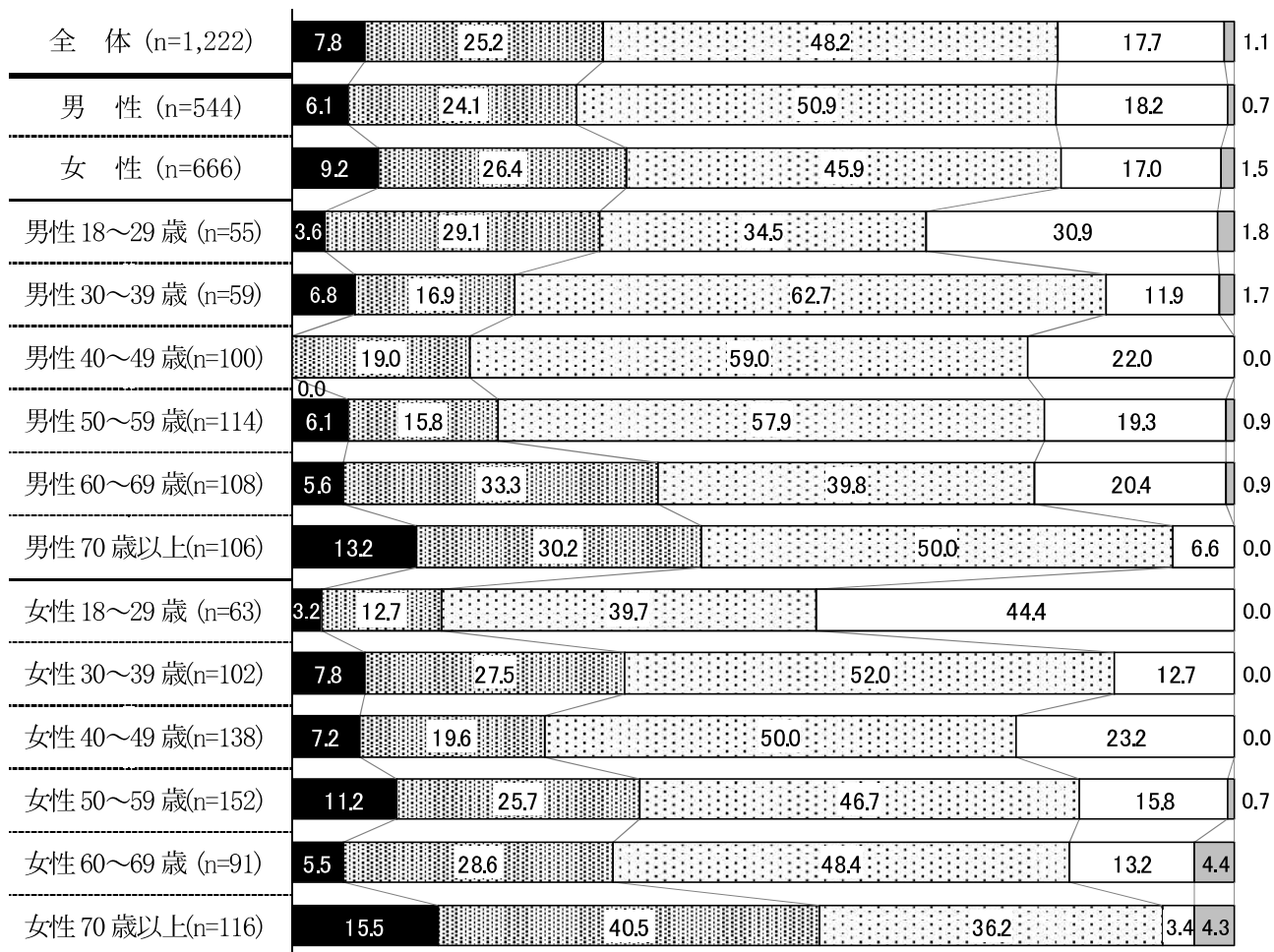
【図表 153】「市政だより 11月号」の閲読状況



性／年齢別に見ると、女性70歳以上では「興味を持った記事を中心に読んだ」が最も多いが、その他の性／年齢では「ざっと目を通した」の方が多くなっている。「読まなかった」は男女ともに18～29歳が最も多い。

【図表 154】「市政だより11月号」の閲読状況（性／年齢別）

全体をしっかりと読んだ
 興味を持った記事を中心に読んだ
 ざっと目を通した
 読まなかった
 無回答



(5) 「市政だより」についての考え

問 22. 市政だよりについて、AとBの考え方ではどちらの方があなたのお考えに近いと思われますか。それぞれの項目ごとに最もあてはまるものを1つずつ選んでください。

- ① A: 市政だよりが最も情報を得やすいので、もっとページ数を増やしたほうが良い
- B: 詳細はホームページ等で情報を得るので、ページ数は増やす必要はない

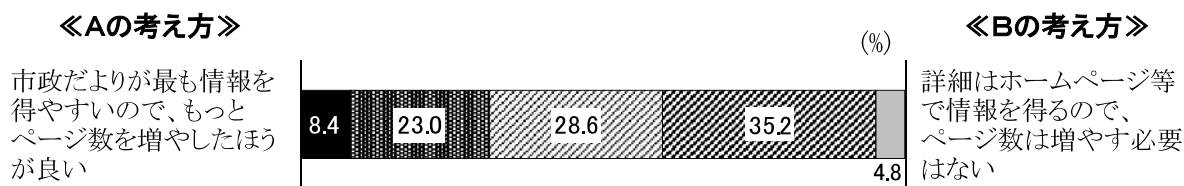
【Bに近い】が63.8%と、『詳細はホームページ等で情報を得るので、ページ数は増やす必要はない』という考え方に近いと回答した人の方が多かった。

【図表 155】「市政だより」についての考え

A : 市政だよりが最も情報を得やすいので、もっとページ数を増やしたほうが良い
B : 詳細はホームページ等で情報を得るので、ページ数は増やす必要はない



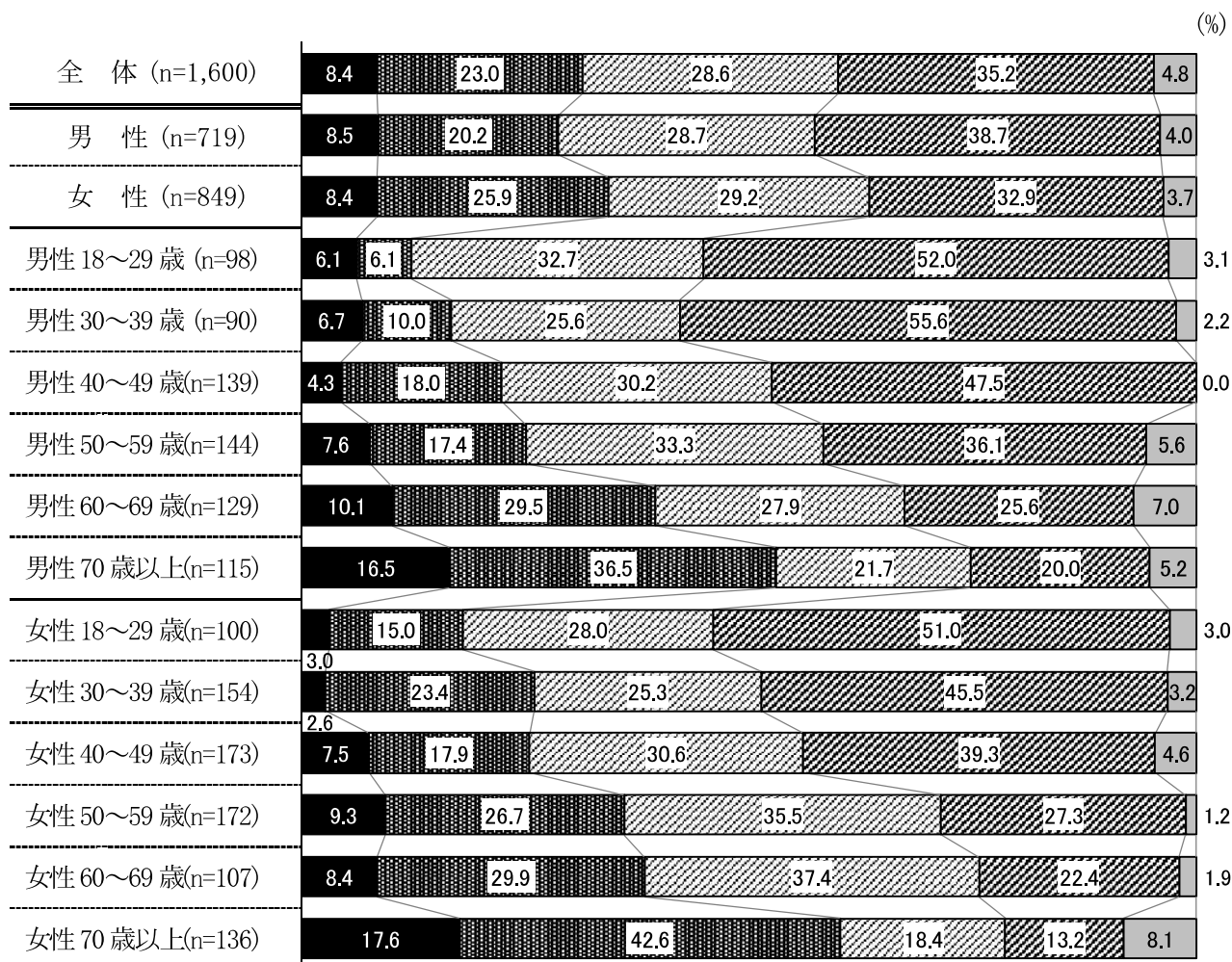
(n=1,600)



性／年齢別に見ると、男女ともに概ね年代が高いほど【Bに近い】(詳細はホームページ等で情報を得るので、ページ数は増やす必要はない) が少なくなっており、70歳代以上では【Aに近い】(市政だよりが最も情報を得やすいので、もっとページ数を増やしたほうが良い) の方が多くなっている。

【図表 156】「市政だより」についての考え (性／年齢別)

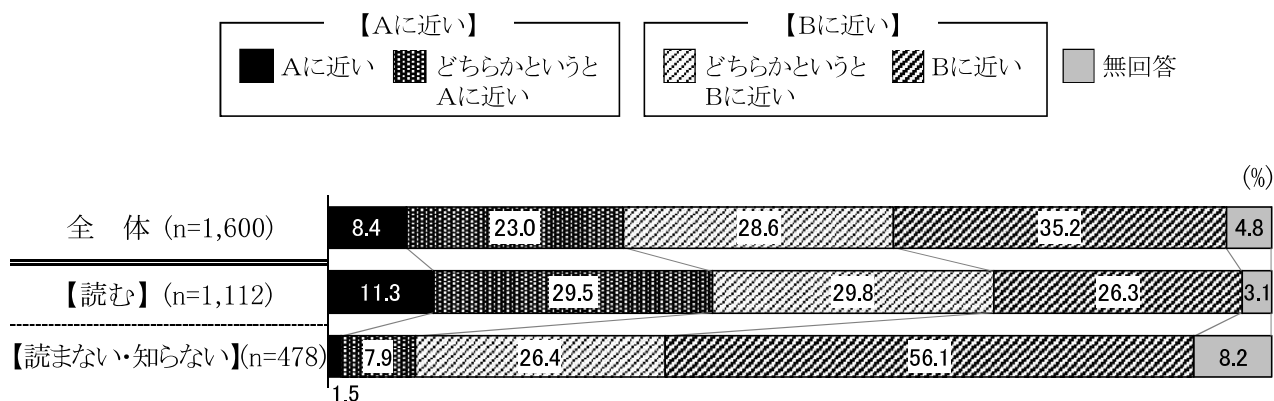
A : 市政だよりが最も情報を得やすいので、もっとページ数を増やしたほうが良い
 B : 詳細はホームページ等で情報を得るので、ページ数は増やす必要はない



問20の「市政だよりの購読状況」別に見ると、いずれも【Bに近い】の方が多いが、市政だよりを【読まない・知らない】（「ほとんど読まない」「まったく読まない」「あることを知らない」の合計）人は【Aに近い】が9.4%であるのに対し、【読む】（「毎月必ず読む」「ほとんど毎月読む」「たまに読む」の合計）人は40.8%と多くなっている。

【図表 157】「市政だより」についての考え（市政だよりの購読状況別）

（ A：市政だよりが最も情報を得やすいので、もっとページ数を増やしたほうが良い
B：詳細はホームページ等で情報を得るので、ページ数は増やす必要はない



- ② A:市全体の取組などの情報を充実させてほしい
B:より身近な区の情報を充実させてほしい

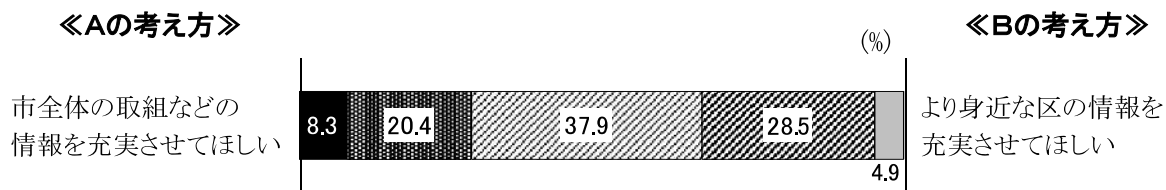
【Bに近い】が66.4%と、『より身近な区の情報を充実させてほしい』という考え方に近いと回答した人の方が多かった。

【図表 158】「市政だより」についての考え

A : 市全体の取組などの情報を充実させてほしい
B : より身近な区の情報を充実させてほしい



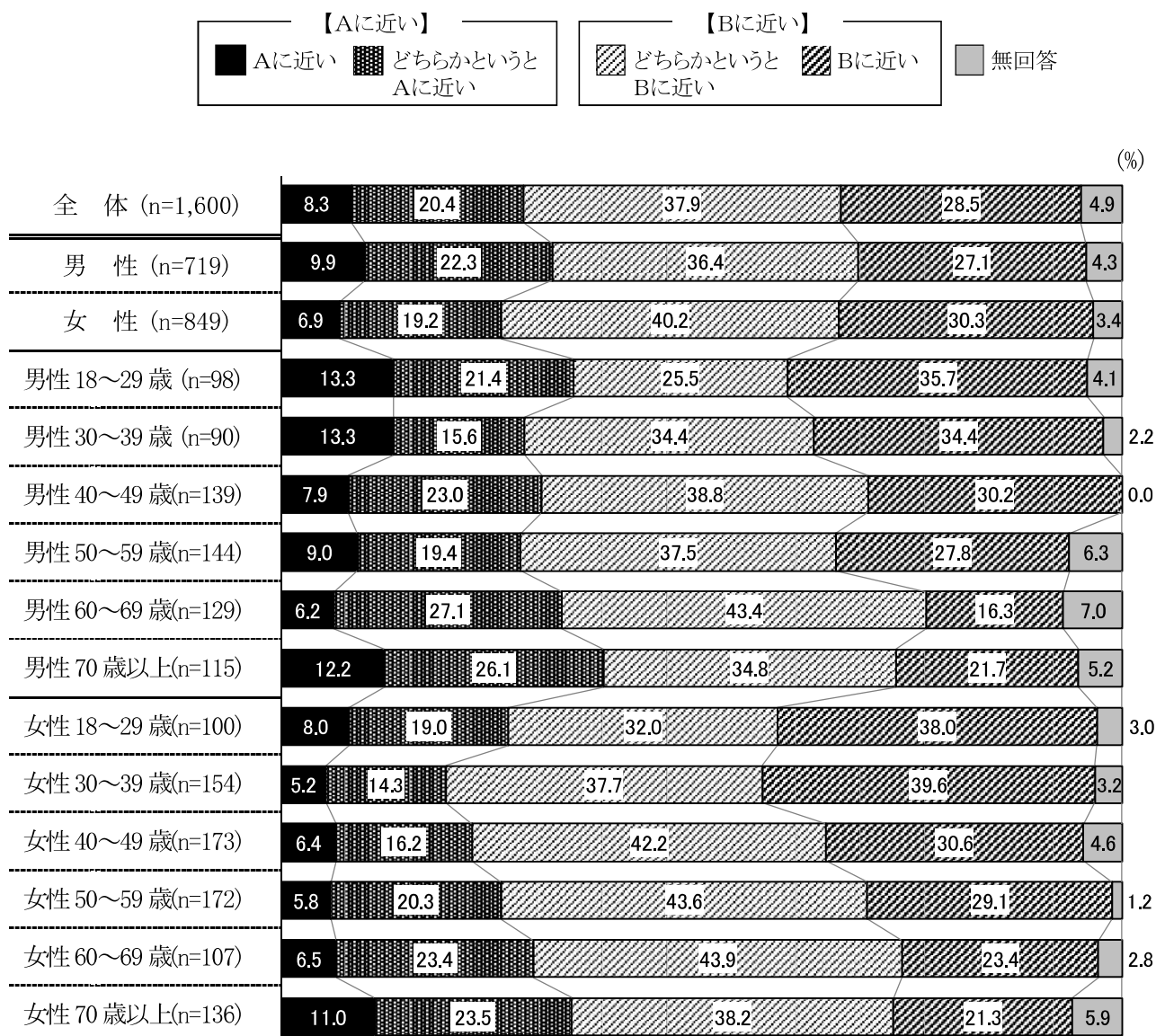
(n=1,600)



性／年齢別に見ると、全ての性／年齢で【Bに近い】(より身近な区の情報を充実させてほしい)の方が多く、男性では年齢によりばらつきが見られるが、女性では年齢が高いほど【Bに近い】が少なくなっている。

【図表 159】「市政だより」についての考え (性／年齢別)

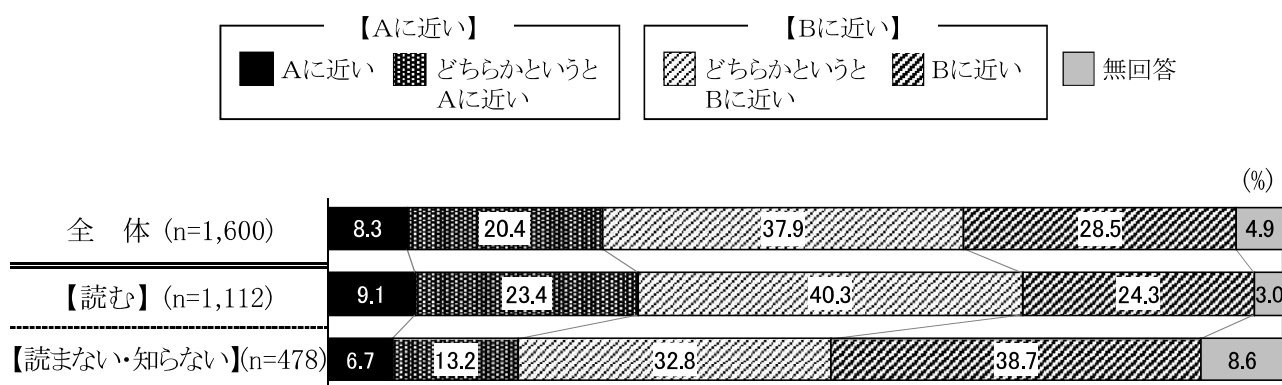
〔 A : 市全体の取組などの情報を充実させてほしい
B : より身近な区の情報を充実させてほしい 〕



問20の「市政だよりの購読状況」別に見ると、いずれも【Bに近い】(より身近な区の情報を充実させてほしい)の方が多いが、市政だよりを【読まない・知らない】(「ほとんど読まない」「まったく読まない」「あることを知らない」の合計)人は【Aに近い】(市全体の取組などの情報を充実させてほしい)が19.9%であるのに対し、【読む】(「毎月必ず読む」「ほとんど毎月読む」「たまに読む」の合計)人は32.5%と多くなっている。

【図表 160】「市政だより」についての考え(市政だよりの購読状況別)

〔 A : 市全体の取組などの情報を充実させてほしい
 B : より身近な区の情報を充実させてほしい 〕



- ③ A:情報の種類は少なくとも、ひとつひとつの内容について詳しく載せてほしい
B:情報の種類を優先して、ひとつひとつの内容については、概要程度で構わない

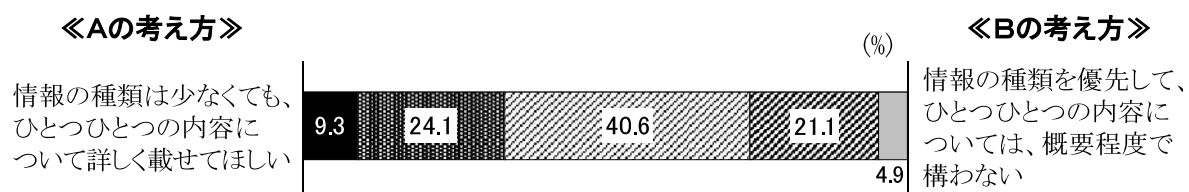
【Bに近い】が61.7%と、『情報の種類を優先して、ひとつひとつの内容については、概要程度で構わない』という考え方に近いと回答した人の方が多かった。

【図表 161】「市政だより」についての考え

A : 情報の種類は少なくとも、ひとつひとつの内容について詳しく載せてほしい
B : 情報の種類を優先して、ひとつひとつの内容については、概要程度で構わない



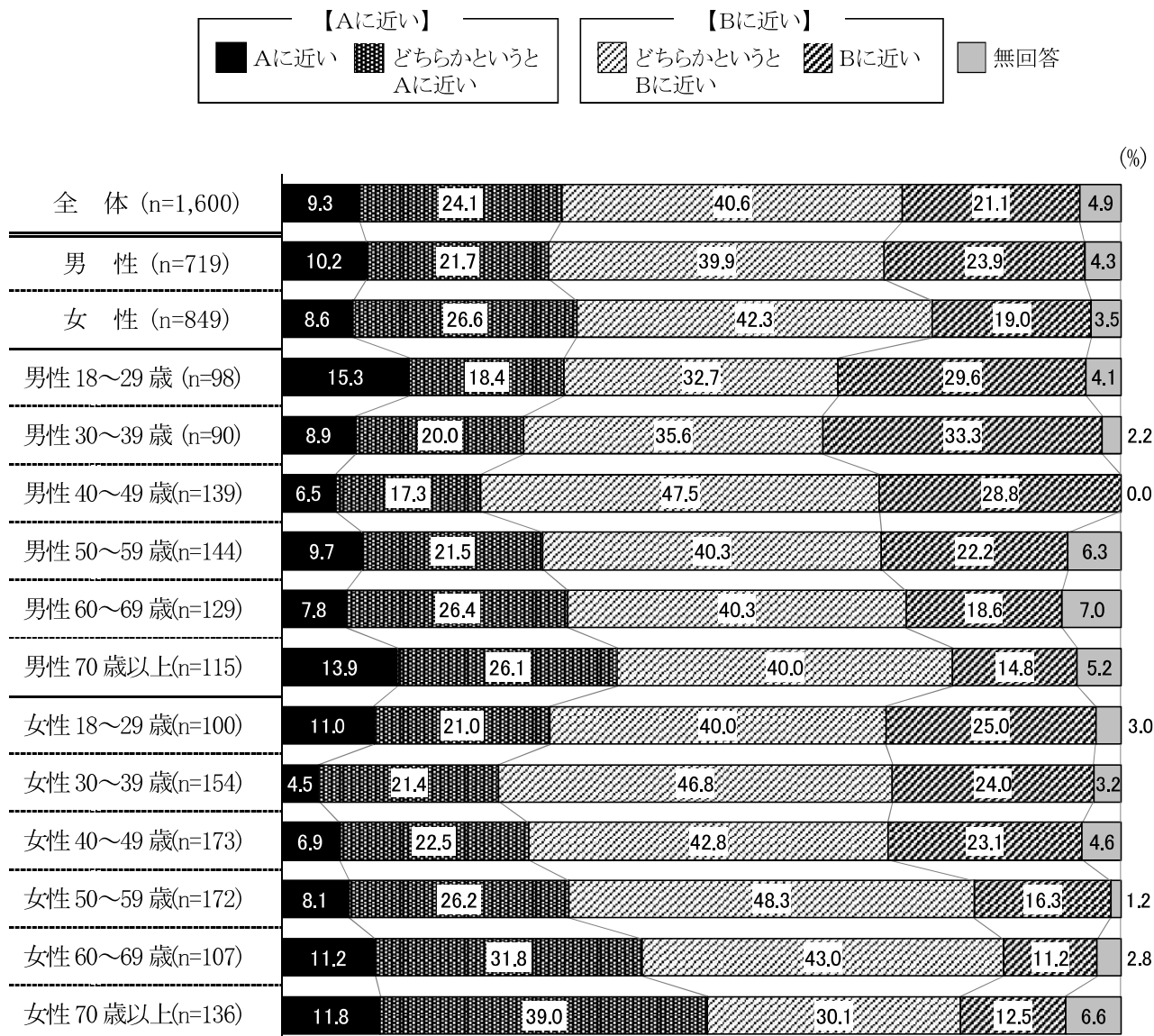
(n=1,600)



性／年齢別に見ると、ほとんどの性／年齢で【Bに近い】(情報の種類を優先して、ひとつひとつの内容については、概要程度で構わない)の方が多いが、男女ともに70歳以上で【Aに近い】(情報の種類は少なくとも、ひとつひとつの内容について詳しく載せてほしい)が最も多くなっている。

【図表 162】「市政だより」についての考え (性／年齢別)

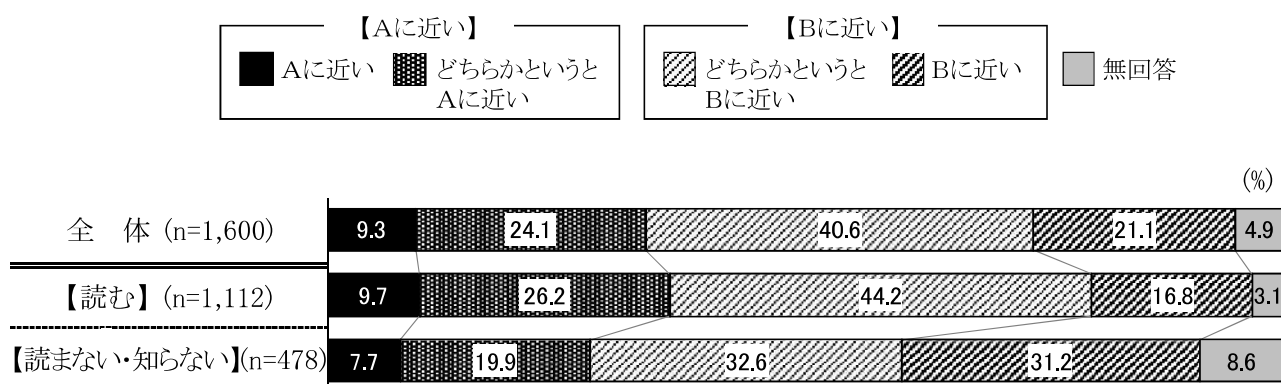
〔 A : 情報の種類は少なくとも、ひとつひとつの内容について詳しく載せてほしい
 B : 情報の種類を優先して、ひとつひとつの内容については、概要程度で構わない 〕



問 20 の「市政だよりの購読状況」別に見ると、いずれも【Bに近い】(情報の種類を優先して、ひとつひとつの内容については、概要程度で構わない)の方が多いが、市政だよりを【読まない・知らない】(「ほとんど読まない」「まったく読まない」「あることを知らない」の合計)人は【Aに近い】(情報の種類は少なくとも、ひとつひとつの内容について詳しく載せてほしい)が27.6%であるのに対し、【読む】(「毎月必ず読む」「ほとんど毎月読む」「たまに読む」の合計)人は35.9%と多くなっている。

【図表 163】「市政だより」についての考え(市政だよりの購読状況別)

〔 A : 情報の種類は少なくとも、ひとつひとつの内容について詳しく載せてほしい
B : 情報の種類を優先して、ひとつひとつの内容については、概要程度で構わない 〕



- ④ A: 配布方法は、紙で各戸に配布した方が良い
B: 各戸に配布されなくても、公共施設や駅、ホームページなどで入手できれば良い

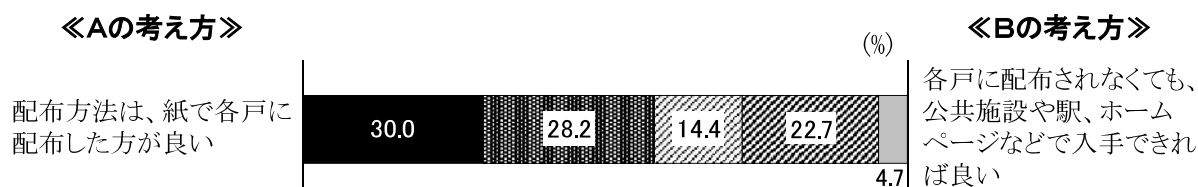
【Aに近い】が58.2%と、『配布方法は、紙で各戸に配布した方が良い』という考え方に近いと回答した人の方がやや多かった。

【図表 164】「市政だより」についての考え

(A : 配布方法は、紙で各戸に配布した方が良い
B : 各戸に配布されなくても、公共施設や駅、ホームページなどで入手できれば良い)



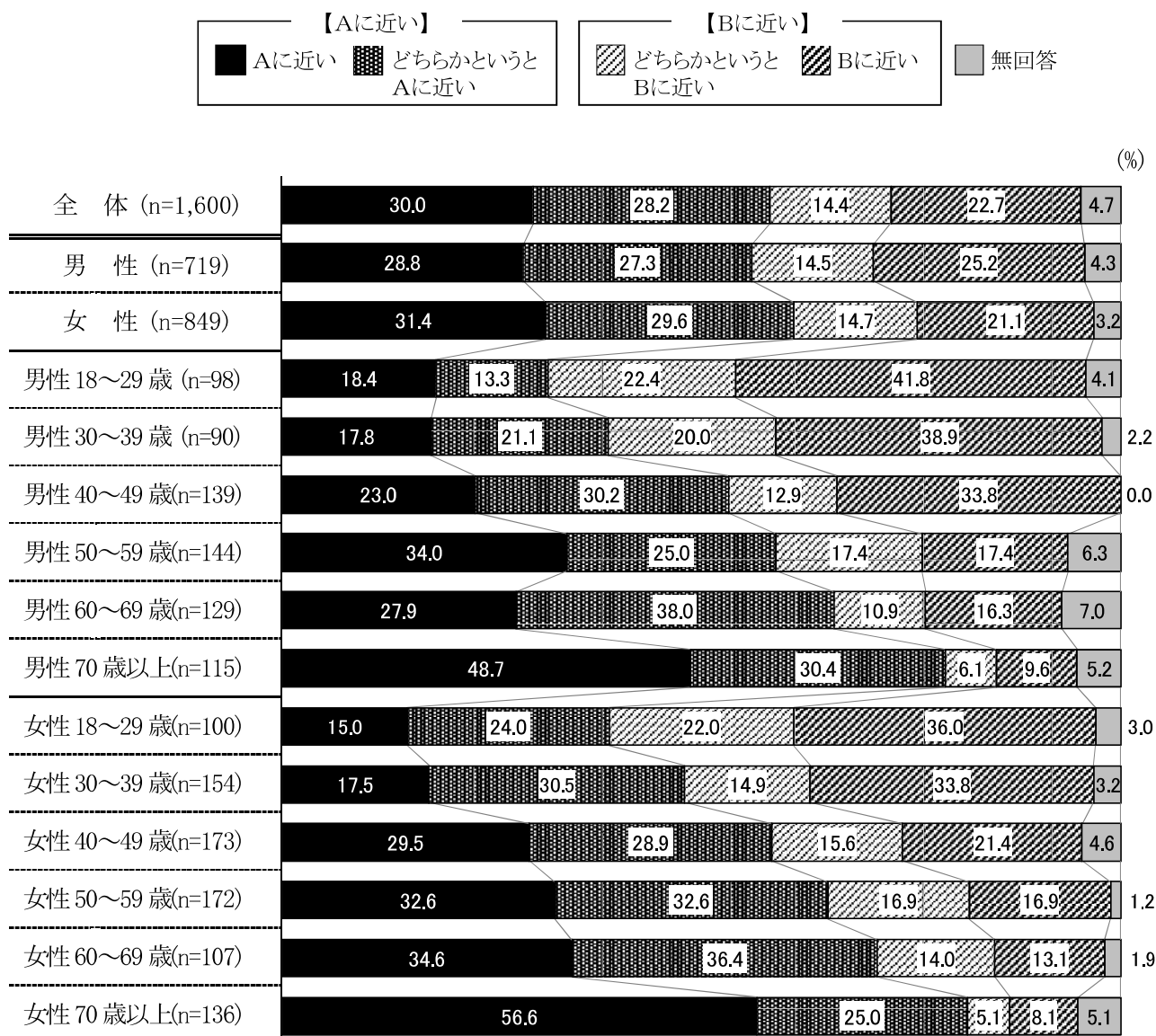
(n=1,600)



性／年齢別に見ると、男女ともに年代が低いほど【Aに近い】(配布方法は、紙で各戸に配布した方が良い)が少なく、30歳代以下では【Bに近い】(各戸に配布されなくても、公共施設や駅、ホームページなどで入手できれば良い)の方が多くなっている。また、男女ともに70歳以上では約8割が【Aに近い】と回答している。

【図表 165】「市政だより」についての考え (性／年齢別)

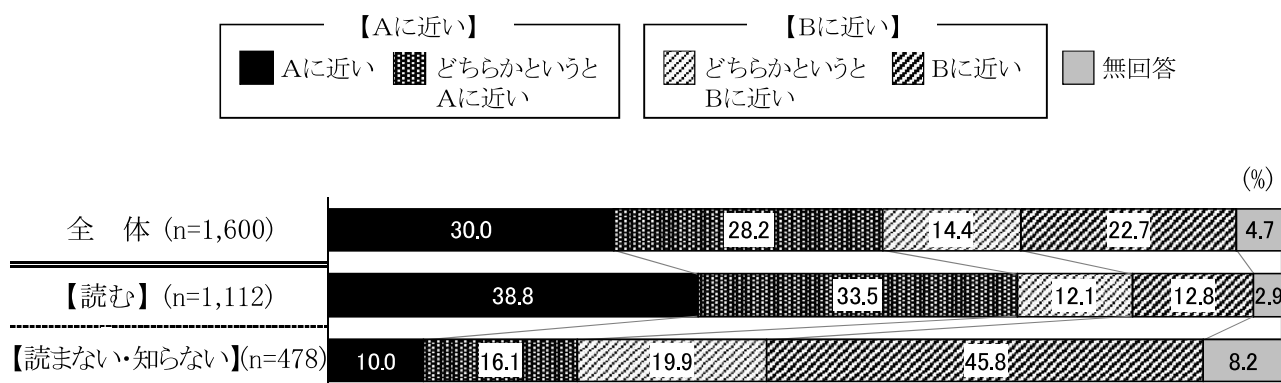
〔 A : 配布方法は、紙で各戸に配布した方が良い
 B : 各戸に配布されなくても、公共施設や駅、ホームページなどで入手できれば良い 〕



問20の「市政だよりの購読状況」別に見ると、市政だよりを【読む】(「毎月必ず読む」「ほとんど毎月読む」「たまに読む」の合計)人は【Aに近い】(配布方法は、紙で各戸に配布した方が良い)が72.2%であるのに対し、【読まない・知らない】(「ほとんど読まない」「まったく読まない」「あることを知らない」の合計)人は26.2%と少なく、【Bに近い】(各戸に配布されなくても、公共施設や駅、ホームページなどで入手できれば良い)の方が65.7%と多くなっている。

【図表 166】「市政だより」についての考え(市政だよりの購読状況別)

〔 A : 配布方法は、紙で各戸に配布した方が良い
 B : 各戸に配布されなくても、公共施設や駅、ホームページなどで入手できれば良い 〕



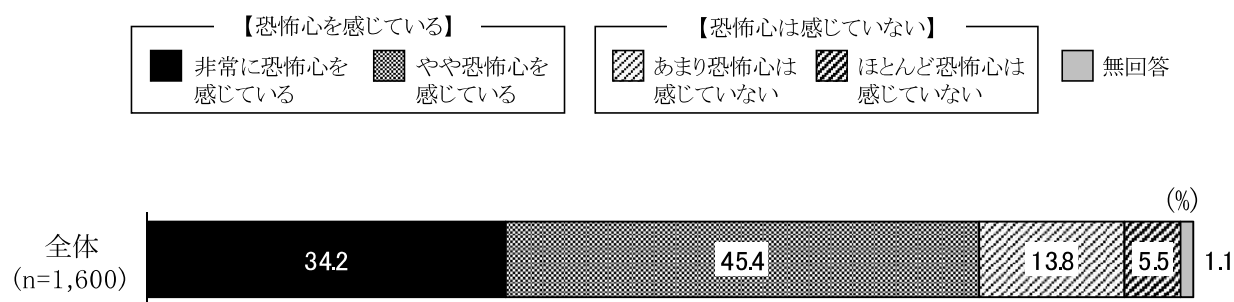
2.7 新型コロナウイルス感染症について

(1) 新型コロナウイルス感染症に感染することに対する恐怖心

問 23. あなたは、あなた自身が新型コロナウイルス感染症に感染することに、どの程度恐怖心を感じられていますか。

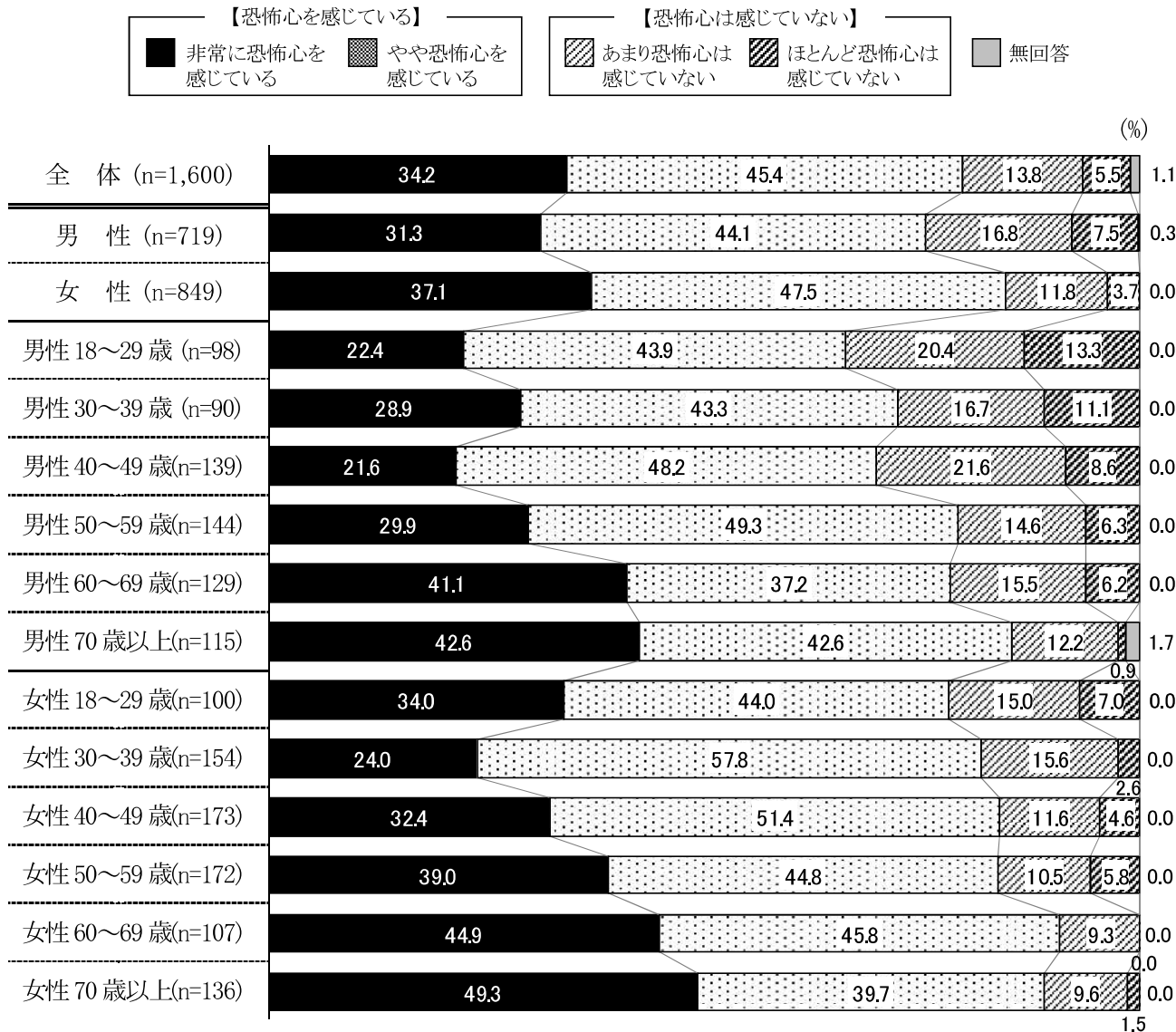
「非常に恐怖心を感じている」と「やや恐怖心を感じている」を合計した【恐怖心を感じている】は79.6%、「あまり恐怖心は感じていない」と「ほとんど恐怖心は感じていない」を合計した【恐怖心は感じていない】は19.3%であった。

【図表 167】 新型コロナウイルス感染症に感染することに対する恐怖心



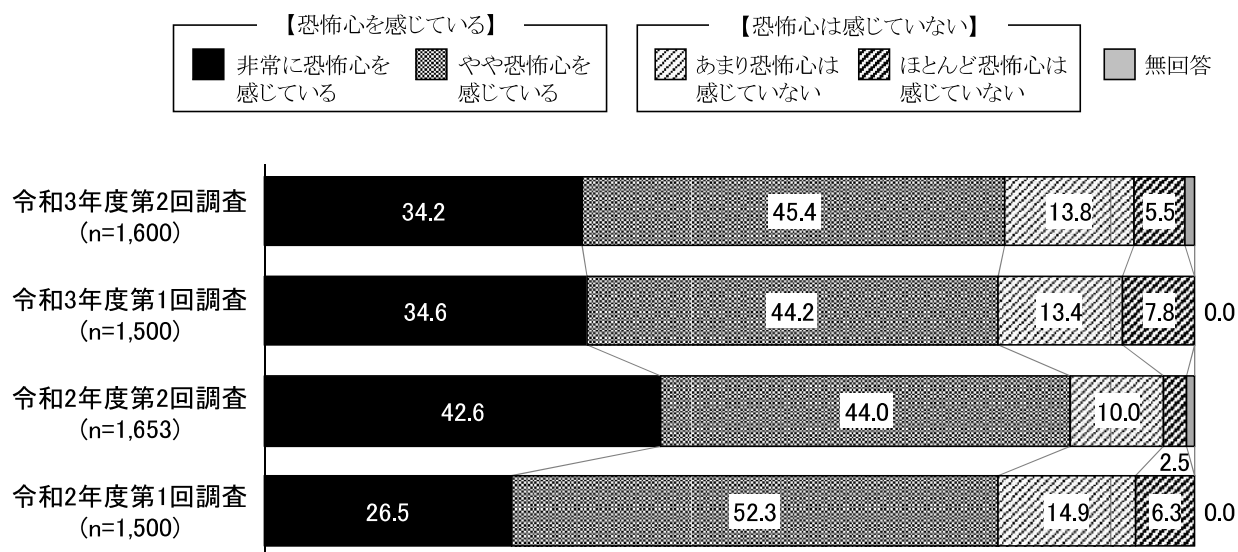
性／年齢別に見ると、男性よりも女性の方が【恐怖心を感じている】が多くなっている（男性75.4%、女性：84.6%）。また、【恐怖心を感じている】は概ね年齢が高くなるほど多く、「非常に恐怖心を感じている」は男女ともに60歳代以上で4割を上回った。

【図表 168】新型コロナウイルス感染症に感染することに対する恐怖心（性／年齢別）



同じ設問を聴取した過去の調査と比較すると、「非常に恐怖心を感じている」と「やや恐怖心を感じている」を合計した【恐怖心を感じている】は、令和2年11月から12月にかけて実施した令和2年度第2回調査では86.6%であったが、令和2年度第1回調査と令和3年度第1回・第2回調査ではいずれも8割弱となっている。なお、「非常に恐怖心を感じている」については、令和2年度第1回調査（26.5%）と比較し、令和3年度第1回（34.6%）・第2回調査（34.2%）では8ポイント前後高くなっている。

【図表 169】新型コロナウイルス感染症に感染することに対する恐怖心
(過去調査との比較)



【参考】調査時期における緊急事態宣言の状況について

	調査期間	緊急事態宣言の有無
令和3年度第2回調査	令和3年11月17日～12月24日	無
令和3年度第1回調査	令和3年9月3日～9月13日	有（令和3年8月2日～令和3年9月30日）
令和2年度第2回調査	令和2年11月18日～12月25日	無
令和2年度第1回調査	令和2年9月4日～9月14日	無

